

リーディングDXスクール事業【実践事例】

千葉県立東葛飾中学校

【取組内容】 Teamsの活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の最適化

【目的】

Microsoft365のTeamsを利用して、授業クラス単位にチームを分けることによって、情報共有を授業別に対応できるようにする。

■実践例：数学

◎学習目標

自立した学習者への育成と、他の人と共に学び合う力、様々な解法に触れることでの新たな思考の学びを目指す。

◎学習の流れ

①発展的な数学の問題を数問提示

- ・参考になる動画やWEBサイトも提示する。
- 参考資料はTeamsに投稿。いつでもどこでも参照可能。



②個々で調べて進める（2コマ分程度）

- ・1人でも複数人でも個々の判断に委ねる。
- ・場所も教室内なら自由に移動して構わない。



③指定したグループで解法を共有

- ・紙面にグループとしての解法をまとめる。
- ・まとめた紙面は写真撮影しTeamsにアップロード。



④写真を教室に投影してクラス内で発表

- ・クラス全体で解法を共有する。
- ・各グループの解法はTeamsで共有。他者参照できる。

■実践例：社会

◎学習目標

興味関心から学ぶ力を育み、他者と情報共有することによって、新たな知識を得るとともに更なる興味を抱かせ、幅広い教養をもつ学習者育成を目指す。

◎学習のテーマ

『私の気になる〇〇の変遷から現代社会を描き出そう』

生徒は、戦後から現代社会までの時代の移り変わりの中で、自分の興味関心ある事やモノがどう変化していったのかを調べる。

◎学習の流れ

①興味関心あることを自分で調べる

- ・調べ方は個々の判断に委ねる。
- ・PCを使っても良いし図書室へ行っても構わない。



②PowerPointにまとめる



③PCを使って一人ひとり発表

- ・クラス全体で情報を共有する。
- ・まとめた資料はTeamsで共有。他者参照できる。

